

選挙人名簿登録者数
(令和6年12月1日定時登録現在)

男 309,232 名
女 314,648 名
計 623,880 名

過去のELECTIONは以下のQRコードから
確認できます。(大田区のHPに繋がります。)



第106号 大田区明るい選挙推進協議会広報誌

発行 令和7年2月

ELECTION

～せんきょ
《明選だより》～

ELECTION (エレクトション) とは、英語で「選挙」の意味です。

第76回 明るい選挙ポスターコンクール

東京都
最優秀賞

受賞おめでとう
ございます!



小学校低学年の部 東京都最優秀賞 山王小学校 1年

さとう あおば
佐藤 青葉さん

(表彰式にて)



総務省・都道府県・市区町村では将来の有権者である児童・生徒の選挙への関心を高め、政治意識の向上を図るために、毎年「明るい選挙」をテーマとしてポスター作品を募集しています。

令和6年度は、区内在住・在学の小・中学生・高校生から227作品の応募をいただきました。学校関係者の皆様方の多大なるご理解ご協力に心より感謝申し上げます。

第76回 明るい選挙ポスターコンクール

18歳になったら、選挙で日本を救おう



高等学校の部
六郷工科高等学校2年
アハメッド シヤマさん

東京都
優秀賞

未来を変えるために、18歳から投票



高等学校の部
六郷工科高等学校2年
齋藤 真帆さん

大田区明るい選挙推進協議会賞



小学校低学年の部
馬込第二小学校3年
池田 美月さん



小学校高学年の部
出雲小学校6年
清水 琴美さん



中学生の部
安方中学校2年
菅原 詩さん



高等学校の部
六郷工科高等学校2年
齋藤 真帆さん

7月7日東京都知事選挙及び 10月27日衆議院議員選挙を振り返って

本年に執行された2つの選挙で投票管理者・立会人を務めてくださった方に寄稿していただきました。
(原則、原文のまま掲載しております。)

北千束東自治会 ^{すずき しゅんすけ} 鈴木 俊輔

今回の都知事選挙では6月22日に大田区役所での期日前投票管理者と、投票日当日の立会人を担当しました。

6月21日から7月6日までの16日間の期日前投票期間は些か長く有権者の選挙に対する関心が薄れないか心配でした。

今回は選挙期間中に56名の候補者乱立、ポスター掲示板の用途外活用、選挙演説時の他候補への妨害活動等、今迄に想定した事の無い問題が発生し連日メディアを賑わせていましたので、投票所での混乱を不安視して選挙に臨みました。

しかし、投票所での混乱は全く無く、都知事選としては12年振りに投票率も60%を越え、逆に問題発生により都民の都知事に対する関心が高まった結果だと思えます。

改めて都民の皆様の良識を感じた次第です。

今後も明選の永年の課題である若者の投票率の向上に向け啓発活動に専心するつもりですが、若者が投票したくなる施策の実現による投票率向上が根本の解決策だと期待します。

池上徳持南町会 ^{うちだ みちえ} 内田 美智枝

10月に入って総理の急な衆議院解散により、ドタバタの選挙戦が始まりました。

候補者のポスター造りから投票券に至るまで、裏方での関係者の方々が大変な苦労をされた事と思います。テレビ、新聞等で自民党への批判ばかりが目について、さぞかし投票者が少ないのではと思いきや、私は3日目に立会人をやらせて頂いたのですが、朝から投票者がいらして、今迄になく若い人達が沢山いらして、両親と一緒に高校生も見えて驚きました。又、今回は高齢者の方が一人で杖をついてこられたのが、目につきました。

皆様が今回の政治にどんなにか期待をされているのだと、とても感じました。

どうぞ有権者達を絶対に裏切らない政治をぜひぜひお願い申し上げます。

西蒲田二・三丁目自治会 ^{まつもと きみよ} 松本 君代

幾度か投票管理者、立会人の従事をさせていただき感じた事があります。

区職員はもちろん、派遣、アシスタントの方々の目配り、気配りが良く、職務をスムーズに行っています。多種多様な方々が投票に来られますが、それぞれに手助けをされています。安心を持って投票に来て頂きたいと思えます。今年、若い方の投票も多く見られます。関心を持つ事が大事です。投票所に足を運びましょう。

本蒲田一丁目町会 ^{まえだ まなみ} 前田 学

10月27日(日)衆議院議員選挙があり、立会人として従事致しました。

投票所に来られた方々の年齢は詳しく分かりませんが若い方、主に20代の方は少ないように見られました。これは政治に興味の無い若者が増えているという事でしょうか。

高齢者の多い時代になり、投票所へ来る方の中にも体の不自由な方を多く見かけます。そんな方達を見ると胸が熱くなり、頭が下がります。

投票したら何かポイントを貰うことがあったり、ネットで投票出来れば若い方達も少しは政治に興味を示し投票率が上がるのではないのでしょうか。

選挙人が一票の重みを感じ、今日は絶対に投票所へ行くんだと思う人々が増えてほしいです。選挙で新しい社会を実現する為の一步になり、自分の未来を良い世界にするように、ぜひ投票所へ行ってほしいと思います。

池の台自治会 ^{もりい えみこ} 森井 恵美子

コロナ禍の中、研修より前に立会人としての仕事が始まった様に思います。手引きの事例にあるように、①子どもに投票させようとする親御さん、②携帯で話しながらの記述等も体験しました。この様な場合の対応で、スムーズに正しい投票に導くのに、話し方の技術が必要と実感しました。

私事ですが、昔父が小さな町で議員をしていた為、『選挙』は身近なことで、投票は大人になればする事と刷り込まれていました。当然息子達もその様に育てました。ゆえに、子どもに体験させる為に試しに投票させるのではなく、親の正しく投票する姿を見せるのが一番効果的なのではないのでしょうか。

60代後半になって新しい経験を得られる事は有難く、緊張もありますが、お役を完遂できる様に、学びを重ねていきたいと思えます。外見からも内面からも姿勢を正して『明るい選挙推進協議会』に関わって参りたいと考えています。

中央一丁目町会 ^{いわい のぶお} 岩井 信夫

令和6年7月7日の東京都知事選挙では、本庁舎と出張所での期日前投票と当日投票立会人を務めました。スタッフの皆さんも暑い中、少しでも気持ち良く投票していただけると心配りして対応しておりました。それでも投票率はさほど上がりませんでした。

推進委員としては区民の皆さんに、一人でも多く投票所へ来ていただくことが使命だとは思っておりますが、我々の力のなさが痛感されます。駅前等の啓発活動、メディアの活用は従来通り行い、その他

に何かないか・・・。政治がどれだけ大切なことか、学校の授業で選挙の重要性を説く、こういう基礎的な事柄はもちろん必要だと思いますが、もっと肩の力を抜いて「楽しい選挙」にシフトしていけばと思います。投票所は厳正かつ静寂な雰囲気を保っていますが、例えば静かなBGMを流しより和やかな雰囲気を醸し出すというのはどうでしょうか。我々も「お疲れさまでした。ありがとうございました。」と

お声掛けしております。しかし時には職務上注意申し上げる面もあります。気にする方は投票するのに監視されているような気分になるのではないかと危惧しておりますが、投票権というのは大事な権利です。我々が堅苦しい雰囲気を払拭し、一人でも多くの方が投票所に気楽に足を運んでいただけることをせつに願っております。

若年層立会人からの一言

まるやま けんたろう
圓山 賢太郎 (20代)

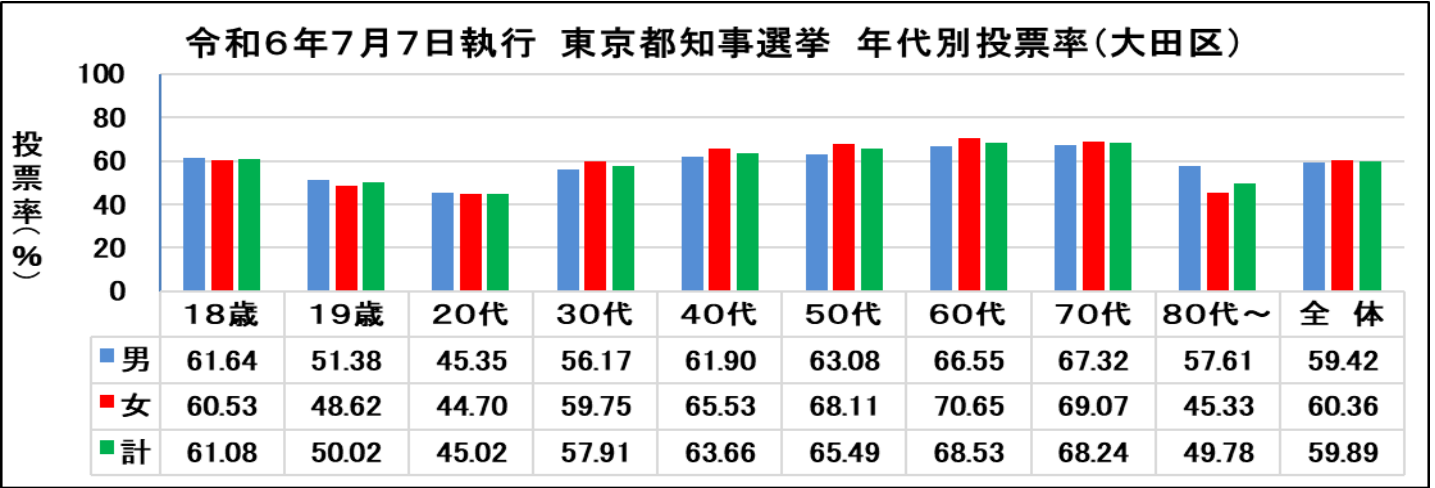
私は今回、大田区 HP の『若い方々の期日前投票立会人募集』を見て応募しました。実際に、期日前投票の投票立会人を務めて感じたことは沢山あるのですが、特に強く感じたことを記載したいと思います。それは、「若い人も自分の一票を投じている」事実です。

若年層の低投票率が課題となる中で、興味・関心を持って来てくれた若い世代の有権者の方に、「貴重な一票をありがとうございます」とお伝えしたいです。また、投票立会人を経験して考えたのは、若年層にもっと選挙や政治を身近なものにするには、立会人や投票事務など選挙に携われる機会を広めることや不在者投票制度を大学などと連携して情報発信することなどが必要ではないかと考えました。なぜなら、選挙は、「自分が自治体・国でどんな風に過ごしたいか」を伝えられるチャンスだからこそ、投票の裏側の経験や選挙制度をフル活用して、自分の1票を入れてほしいからです。皆様の一票を、未来への投資として投票してみませんか？

すどう あやの
須藤 綾乃 (20代)

私は初めて期日前投票の投票立会人に参加しました。期日前投票という制度は知っていましたが利用したことはなく、投票立会人の経験を通して、多くの区民が期日前投票を利用しているのだと驚きました。中でも若年層は少なく、投票率の低さを改めて認識しました。

投票率が上がらない要因として、選挙の意義について考える機会が少ないことも挙げられると考えます。「選挙に行きましょう」という言葉は聞きなじみがありますが、ではなぜ選挙に行く必要があるのか、選挙によって私たちの暮らしがどう変わるのかということを考える機会は少ないと思います。私も投票立会人を行うまでは選挙の意義について深く考えたことはありませんでした。一人ひとりが考える機会を増やし、選挙に対する認識を高めていくことが投票率を上げるために重要なことだと感じました。若年層に向けた啓発活動により一層力を入れて、自分の一票を大切にできるように働きかけていく必要があると思います。



大田区子どもガーデンパーティーで啓発を行いました

4月28日（日）に区内10会場で子どもガーデンパーティーが開催され、大田区明るい選挙推進協議会は6会場でブースを出展しました。

仲六郷三丁目町会 いわさき まさる 岩崎 勝

4月28日（日）早朝より快晴に恵まれたガーデンパーティーに、明選委員として初めて参加した。以前は町会役員として毎年の様に参加していたが、コロナ禍があげ数年振りの開催であり、その間に明選委員も変わり、テントの設営、椅子、テーブルを指定の場所より運び、少ない人数でのブース作りに大変苦労した。その後、各町会の手伝いを終わらせた委員を含め、4～5人にて設営準備が完了した。しかし子供達は遊具や物作り、飲食等々に集まり、ブース設置場所が端っこの為なかなか集まってくれなかった。せっかく明選のブースを出すのであれば、もう少し選挙、投票などの選挙のイメージを与えるブース作りがあっても良いのではと考えた。ブースに遊びに来てくれた子供達は親に手を引かれた幼児が多く見られ、小学校高学年、中学生等が多く集まってくれるブース作りが検討されても良いのではと参加しての雑感であるが、広い会場には子供達には魅力溢れる場所であり、遊び場所。その中でのブース作りの難しさを感じた。



大森西地区のポレポレECO(エコ)まつりで模擬投票を行いました

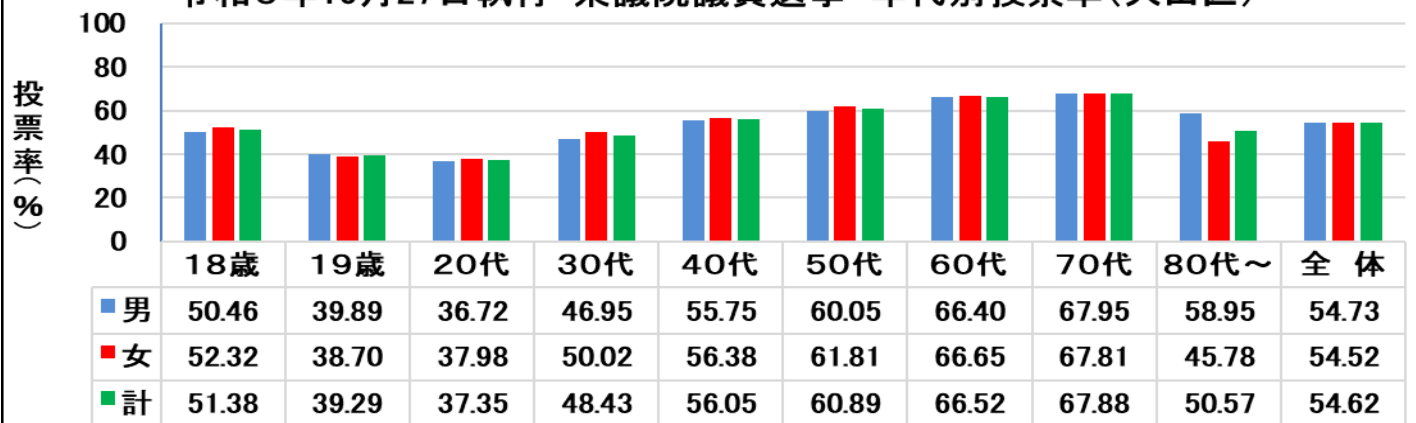
大森東一丁目町会 ふくい しょうそう 福井 省三

ポレポレとはスワヒリ語で「のんびり・ゆっくり」、江戸から続くエコロジーのお祭り。机とのぼり旗のシンプルなコーナー、朝パラパラ来て心配も日焼けなしでハッピー。模擬投票（大人になったらやりたい、成りたい仕事）紙製の投票箱（目安箱）、幼稚園児には少し難しかったかな？心配したが真剣に考えて投票してくれました。

1位先生、2位警察官、3位電車運転士、4位ケーキ屋さん、5位歌手 サッカー選手 ユーチューバー プロゲーマー が同位、学校行事に参加すると皆歌が上手なので上位の歌手に納得、投票するという事が少ない幼稚園、小学生生徒は呼び込みがポイントでも投票参加初めての子供たちを呼び込み上手女性委員皆様のスキルに感謝投票するという事を経験してもらって少しでもこれからの希望する目標を作ってくれればと願っています。※明選のアピール・B4紙大のめいすいくんのポスター作ってほしい 呼び込み参加の効果有るかと めいすいくんポスター作って 次は めいすいくん 3・4枚貼って大々的にアピール コーナー盛り上げたい。



令和6年10月27日執行 衆議院議員選挙 年代別投票率(大田区)



中学生が職場体験に来てくれました

大田区では、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲など培うことのできる教育活動として、中学生の職場体験を実施しています。今年は大森第三中学校と大森第十中学校の生徒を選挙管理委員会事務局で受け入れました。



↑ 選管資材倉庫で作業をする大森第三中学校の皆さん（左から松丸さん、松浦さん）

大森第三中学校 まつまる かくし 松丸 岳司さん

今回の体験を通して僕は、選管の仕事は選挙の期間に働く仕事と思っていたので、物品の管理は業者に任せていると思っていました。しかし、選管は物品の管理もやっていて驚きました。また、日本にいらなくても選挙ができる法律もあったりして、選挙は大切なものだと思います。

僕は、社会の厳しさを知りました。なので大人になるまでに、今回の体験で得たことで対策しようと思います。

大森第三中学校 まつうら こうすけ 松浦 康将さん

今回のこの体験を通して、選挙は自分の思っている以上に手間がかかるものなのだと実感しました。選挙は機械だけでなく、人が毎日備品をていねいに1つずつ確認したり、ポスターをつくったりすることによって選挙というものが成り立っていることを知って驚きました。日々の努力が仕事を成り立たせているという大事なことを知る良い機会になりました。

これからも選挙について学んでいき、大切なことをまた知ることができたら良いなと思いました。



↑ 明るい選挙ポスター展で使用する説明文を作成した大森第十中学校の皆さん（左から花岡さん、工藤さん、直井さん）

大森第十中学校 はなおか ゆうた 花岡 悠太さん

自分は今回の職場体験を通して、選挙をするときの裏側の苦労について学ぶことができました。職場体験に行く前は、選管は選挙についての情報をパソコンに向かってまとめている、というイメージがありましたが、体験してみると思ったよりも外に出る作業が多く、人々を選挙に興味を持たせて、選挙を公正に行うために日々動いているんだな、と実感しました。今後の学校生活か将来でも、この職場体験で得た経験を生かしていきたいです。

大森第十中学校 くどう ゆうか 工藤 結花さん

私は今回の職場体験で、選挙管理委員会事務局への印象が大きく変わりました。最初に体験先を聞いたときは役所の中にあるということもあり、事務作業が多いと思っていました。けど、職場体験をしてみたら、事務作業もちろんあったけど、外に出てポスター掲示場を調査したり倉庫で物品の点検をしたりと、意外と体力がいる仕事が多かったです。それだけでなく投票所の設営など、選挙管理委員会事務局の方々は様々な形で選挙にたずさわっていることを知りました。

こんなに多くの方が関わっていて多くの時間がかかっている選挙に、私も行こうと思いました。

大森第十中学校 なお い さつ き 直井 颯希さん

僕はこの3日間の職場体験を通して、選挙管理委員会についてたくさんのことを学びました。選挙管理委員会の仕事の説明から始まり、啓発物品の選定やイベントの看板づくり、選挙で使用する物品の点検などたくさんのことを体験しました。体験をする

中で、仲間と協力して作業をしたときが一番仕事をしている実感がありました。3日間という短い期間で選挙管理委員会の一員として働き、経験したことを学校生活や人と関わる場面で活かしていきたいと思いました。

インターン生を受け入れました

大田区では学生の職業意識の向上と行政に対する理解を深めることを目的に、インターン生を受け入れています。今年は、選挙管理委員会事務局でも受け入れました。



主権者教育とは・・・

子どもたちが政治や社会のことに関心を持ち、それを「自分ごと」として考えた上で選挙などに主体的に参加する態度を養う教育です。

←矢口中学校にて主権者教育を行うインターン生
(左から横田さん、伊東さん)

インターン生 駒澤大学 3年 よこた しょうご 横田 祥吾

今回、大田区選挙管理委員会事務局のインターンを通じ普段の選挙の裏側、運営側の運びや身近な選挙啓発について様々な刺激と良い経験をさせていただきました。

特に選挙啓発の重要性を間近に感じられる経験として、矢口中学校での主権者教育がありました。中学生のうちから選挙への関心を持ってもらうために、我々インターン生も現地に赴いてスライドやクイズを出して啓発の体験をさせていただいたことで中学生と共に選挙への関心を深めることができました。

最終日には、大田区ホームページの選挙啓発部分の改良案作成を行い、選挙啓発の中身について区民の方がすぐに分かるようなレイアウトを意識しました。明るい選挙推進運動や若年層に向けた啓発は、この先重要性を増すようになっていくと考えます。

インターンを経て選挙啓発の必要性を感じるとともに自分自身も知らなかった活動に触れることができました。5日間という貴重なお時間をいただきありがとうございました。

インターン生 明治学院大学 3年 いとう しおり 伊東 詩葉

インターンシップを経験し、選挙管理委員会が行う常時啓発や選挙時の作業について学び、選挙について自分の理解を深めることが出来ました。

活動の1つとして中学校での出前授業に参加しました。

私は元々小中学校での主権者教育の実施について関心があり、ゼミや授業等で研究しているものの、実際に参加したことはありません。

今回インターン生として参加し、授業の内容にあれこれと意見を出している生徒の姿を見て、主権者教育の重要性について実感することが出来ました。

また校長先生や職員の皆様との懇談の内容から、実態についての新たな知見を得ることが出来、勉強になりました。

次に「明るい選挙推進協議会」に関するHPの改善を行いました。

他自治体との比較をしつつ、改善案を作成することで自治体毎の特色を学び、更に現状の課題についてもお話を聞き、疑問を抱いていた点も解決することが出来ました。

この5日間の貴重な経験は私にとってとても良い刺激になりました。

この機会をいただけたことに感謝いたします。



二十歳の皆さんに啓発を行いました

1月13日(月)に大田区総合体育館において「二十歳のつどい」が開催され、大田区明るい選挙推進協議会もブースを出展いたしました。今年は「大田区のここが好き!総選挙」として、二十歳を迎えた皆さんに区内8つの名所の中から一番好きな場所を投票していただきました。

※候補地は、「二十歳のつどい運営委員会」に選定いただきました。

「大田区のここが好き!総選挙」開票結果

投票者数 141 人、開票率 100%、無効票 4 票

順位	候補地名	得票数
1	タイヤ公園	35
2	池上本門寺	29
3	大森ふるさとの浜辺公園	25
4	洗足池	15
5	屋上かまたえん	14
6	羽田イノベーションシティ	8
7	桜坂	7
8	穴守稲荷神社	4



令和7年は東京都議会議員選挙及び参議院議員選挙が執行されます

令和7年7月22日に東京都議会議員、7月28日には参議院議員の任期が満了となります。

選挙期日が決まりましたら、ホームページなどでお知らせいたしますので、選挙公報やポスター掲示場などで候補者の政策等をチェックいただき、ぜひ投票してください。

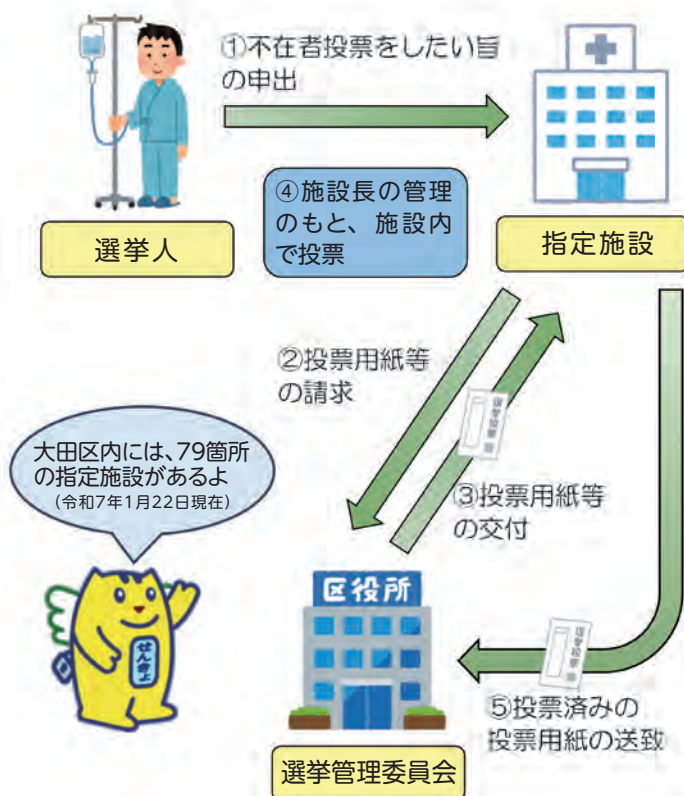
指定施設での不在者投票

都道府県の選挙管理委員会が指定した病院や老人ホーム等（以下、指定施設という）に入院・入所している方は、施設内で不在者投票をすることができます。

※大田区外の指定施設でも投票が可能です。

◆指定施設での不在者投票の流れ

指定施設での不在者投票の流れは次のとおりです。



入院又は入所している施設が、不在者投票をできる施設に該当するかどうか不明な場合は、施設所在地の選挙管理委員会事務局までお問い合わせください。

指定施設の手続きには時間がかかりますので、不在者投票を希望される場合は、お早めに指定施設へお申し出いただくようお願いいたします。

編集委員

協議会副会長	福井 省三	(大森西地区)
//	横山 智恵子	(蒲田西地区)
協議会委員	岡本 勝子	(池上地区)
//	西條 誠一	(新井宿地区)
//	田中 延佳	(雪谷地区)
//	細田 泰昭	(糀谷地区)
//	岩崎 勝	(六郷地区)

発行 大田区明るい選挙推進協議会
大田区蒲田五丁目 13 番 14 号
電話 03-5744-1462